

地域戦略 [大江地区]

大江地区の里地里山

【自然環境】 大江山連峰には希少な動植物やササ・ススキ草原、ブナ林など保存価値の高い自然環境が分布し、国定公園への指定が検討されています。また、展望のよい尾根沿いを縦走できるハイキングコースとして知られ、多くの登山者を集めています。



大江山山頂から望む雲海

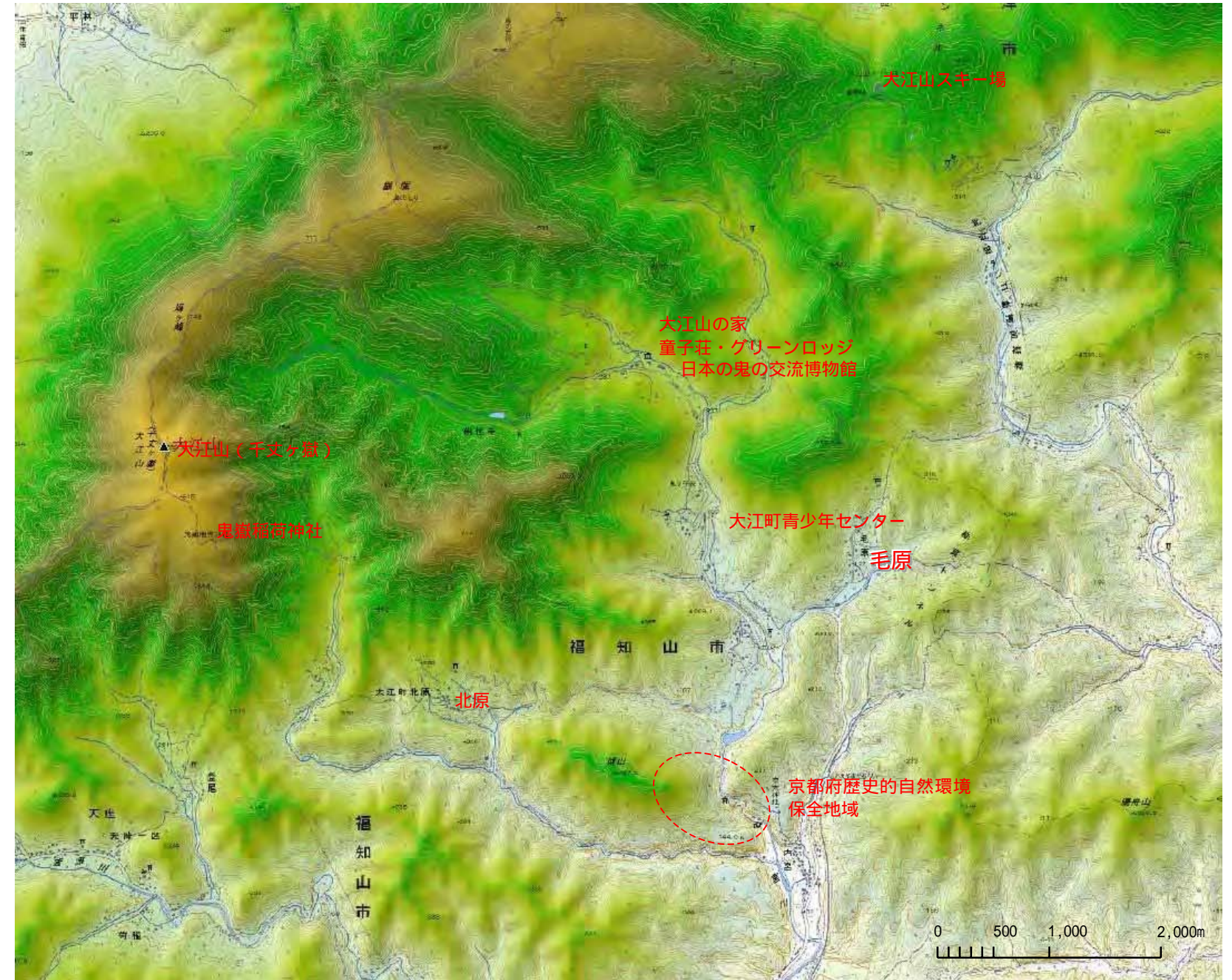


大江山山頂に広がるススキ草原

【里山利用の歴史】 かつては養蚕、和紙、和蠟燭、油など里山の恵みと豊かで清浄な水を利用した地場産業が発達していた地域です。現在でも丹後和紙の歴史と技を伝承する取り組みが続けられています。



左：1軒だけとなった田中製紙工業所。かつては200戸余りが和紙づくりに従事していた。
右：手漉き和紙の歴史を学習し、体験できる大江町和紙伝承館。



【市民活動】 周辺には体験型のレクリエーション施設が立地しています。また、毛原地区では都市住民とともに棚田や里山を保全する活動が継続的に行われています。また、地元企業を巻き込んだグラウンドワークによる地域づくりも行われています。



大学生らによる里山整備



地域住民と企業、行政のグラウンドワークにより作られたビオトープ



地域住民、企業、行政による様々な取り組み (出典：「みんなで守ろう心のふるさと毛原の棚田」パンフレット)

【景観】 毛原集落には「日本の棚田百選」に選定された棚田景観がみられます。この美しい棚田は天水と周辺の里山から水を利用した伝統的な営農により維持されてきたもので、災害防止の機能も果たしています。



里地里山保全再生の目標と取り組み内容

<里地里山保全再生の目標>

目標① 生物多様性の高い棚田・里山の創出

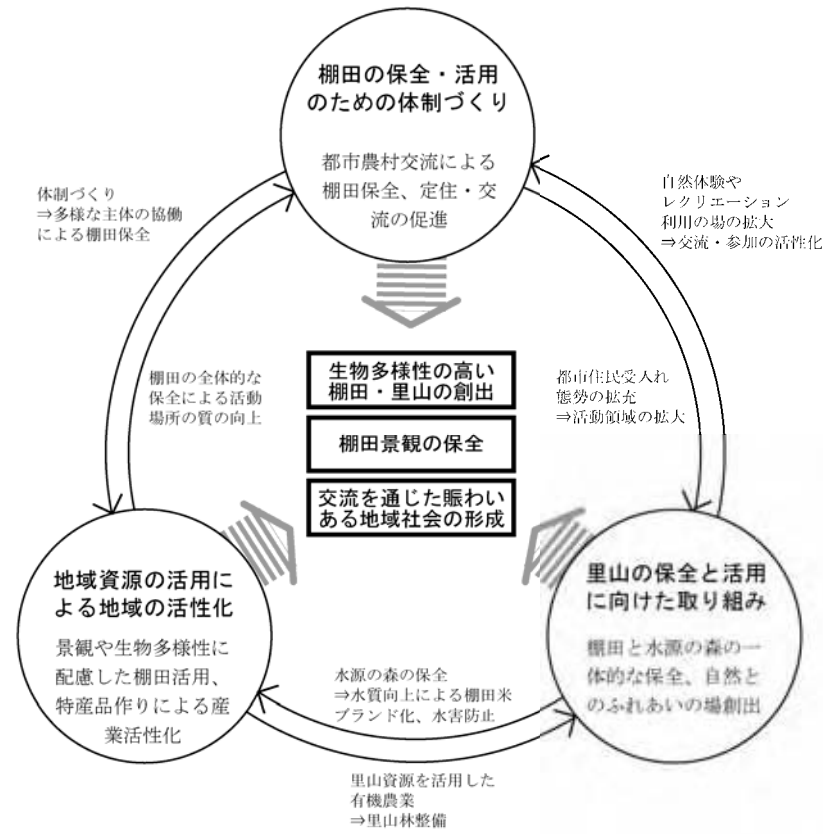
棚田は多様な生物を育む重要な環境でもあることから、棚田周辺の生態系を保全する視点からも棚田や水源となる里山の保全・再生に取り組む。また、自然とのふれあいの場として棚田や里山を活用する。

目標② 棚田景観の保全

地域住民の生活基盤であるとともに文化的景観として高い価値を有する棚田を、交流による担い手の拡大や農業生産活動の活性化等の様々な方策により保全・再生する。

目標③ 交流を通じた賑わいのある地域社会の形成

里地里山の保全活動や自然とのふれあい・体験活動を通じ、地域内外の様々な人々が交流し、賑わいと活気のある地域社会を形成する。



棚田の保全・活用のための体制づくり

棚田農業体験ツアーへの取り組み体制を強化し、地元住民と棚田オーナーやツアー参加者のための交流・拠点施設について検討することによって、地区の里地里山活動に対する継続的なサポーターを増やしていきます。

○棚田農業体験ツアーへの取り組み体制の強化

イベントにおける地元の負担のあり方や、地元への利益還元について再検討します。また、イベントへの参加を通じて、棚田や里山の保全活動に継続的に参加してくれる里地里山活動のサポーターを増やしていきます。

○活動参加者のための作業機械や作業小屋、休憩施設などについての検討

里地里山活動の参加者のための交流・拠点施設について検討し、里地里山サポーターを拡大していくための条件を整えていきます。



みんなで棚田保全に取り組む必要があります



交流・拠点施設の例（神戸市西区神出町東）

地域資源の活用による地域の活性化

景観作物の栽培や特産物づくりについて検討し、農地と棚田景観を保全するとともに、地域の活性化を図ります。また遊休棚田を活用した棚田ビオトープづくりなどによって生き物のための環境を広げ、環境学習を通じた交流を進めます。

○棚田ビオトープづくり

棚田に水を張り、作物を作らない区域を設けることで、チョウやトンボ、メダカなどの棲みかをつくる「棚田ビオトープづくり」について検討していきます。既にあるビオトープ池との相乗効果で、地区の生き物環境がさらに豊かになることが期待できます。小学校や自然活動団体と連携して、環境学習を通じた交流を進めます。

○特産物づくり

地区外のサポーターとも協力しながら、「棚田米」やソバなどの特産物づくりについて検討し、農地の保全と地域の活性化を図ります。

○ログハウスづくりによる定住の促進

田舎暮らしを求める都市住民を対象としてログハウスづくり講習会を実施し、さらに地区への新規定住希望者に対し、土地や資材を斡旋・提供し、セルフビルドによる住宅建設を支援することにより、地域への定住を促進していきます。



ソバ畑



遊休棚田ビオトープ

里山の保全と活用に向けた取り組み

これまでの棚田農業体験や棚田オーナー制度への取り組みに加えて、里山ボランティアを募集し、ハイキングコースの整備や山林の管理に取り組んでいきます。

○里山ボランティアを募集する

里山の自然や山仕事に関心のある都市住民のボランティアを募集し、ハイキングコースの整備や山林の管理などに取り組んでいきます。

○ハイキングコースの整備

里山ボランティアとともに、地区中央の里山において、散策道の整備や展望台の設置を進めていきます。また、散策道や展望ひろば周辺の山林を手入れして、明るく豊かな森づくりを目指します。

○棚田水源の里山の保全

地区中央の展望ひろば周辺だけでなく、さらに里山の管理作業を広げていきたいと考えています。竹林が拡大しつつある神社の裏山などで竹の伐採を行い、良好な広葉樹林づくりを目指します。こうした活動を通じて棚田の水源である里山の環境を守ることで、おいしい棚田米づくりにつながることも期待できます。



ボランティアによる散策道づくり



ボランティアによる下草刈り